



たてやま

議会だより



平成 26 年

6月定例会

あおぞら保育園 プール遊び

楽しく、ダイナミックに、夏ならではのプール遊びを満喫できるよう、安全と衛生に気をつけながら取り組んでいます。

- | | |
|--------------------------------|--------|
| 〈条例の改正〉小学生の通院費、全額無料 | 2P |
| 〈委員会の審議〉
武道館こけら落しに山口 香さんを招待 | 3P |
| 〈一般質問〉8名の議員が質問 | 4P~11P |
| 〈農業委員〉女性4名を推薦 | 12P |

No. 52

2014.8.1

発行／立山町議会
責任者／議長 佐藤康弘
編集／広報特別委員会

10月から

小学生の通院費は全額無料

中学生は1割負担へ

平成26年度

一般会計補正予算 1,951万4千円を追加

(総額 113億5,351万4千円に)

改正された主な条例の内容

◆立山町税条例等の一部改正

法人住民税割の税率引き下げと、軽自動車税の税額を改定

◆立山町国民健康保険税条例の一部改正

保険税課税限度額の引き上げと、保険税軽減世帯の拡大

◆立山町乳児・幼児及び児童医療費助成に関する条例の一部改正

小学生の通院費の助成額拡充と、中学生の通院費の助成制度の新設(所得制限有り)

平成26年6月定例会は、6月4日から17日までの14日間にわたって開かれ、専決処分承認1件、補正予算1件、条例の改正7件、町道路線の認定1件、物品購入契約1件、工事請負契約1件、指定管理者の指定1件、合計13件の議案を可決しました。

また、議員提出議案2件を可決、農業委員の推薦に同意しました。

一般質問では、8名の議員が町政全般について質問を行いました。(質問と答弁の要約は、4ページから11ページです)

会議録は、8月中に図書館および町ホームページで閲覧できます。

町議会では、2部門の常任委員会に分かれて、提出議案を審議しています。

総務教育常任委員会

武道館こけら落としに山口 香さんを招待

企画政策課

Q コミュニティ助成事業の助成金は、毎年、助成されるのか。

A 宝くじの一般コミュニティ助成事業として要望をしており、毎年1〜2件が助成されている。

税務課

Q 国民健康保険税の課税限度額の引き上げと軽減対象の拡大によって影響を受ける世帯数はどれくらいか。また、増減額の試算は。

A 課税限度額の引き上げで、後期高齢者支援金分が65世帯、介護給付金分が38世帯、税額で206万円の増額が見込まれる。軽減対象の拡大では、5割軽減が64世帯、2割軽減が41世帯、税額で274万円が軽減される。



武道館

教育委員会

Q 生涯スポーツ振興事業における町武道協会への補助金の内容は。

A 武道館のこけら落としに、柔道の山口香さんを招くための補助金である。

消防本部

Q 火災予防条例を全部改正した理由と、具体的な変更点は。

A 今まで条項がまちまちだったため整理をした。屋外での催しに係る防火管理の条項が追加された。

産業厚生常任委員会

米粉の利用拡大に高校生も協力

建設課

Q 野沢地内で発生した落雷により被災した総合公園の施設は、保険対象となるのか。

A 一部の施設については保険対象となる。



分電盤に落雷

の負担額が減る。

農林課

Q 食のモデル地域育成事業における、米粉の活用方法は。

A 米粉うどんの米粉の割合を増やす試作や、地元産食材と組み合わせた新しい食べ方の工夫やメニュー作り、地元高校生とも協力



米粉を使用した特産品

して取り組み、米粉の利用拡大に努めたい。

商工観光課

Q 立山黒部ジオパーク支援自治体会議負担金の根拠は。

A 負担金は、事業の取り組み内容や進捗状況を勘案した。

住民課

Q 重度心身障害者等医療費助成の改正で、医療費負担の影響を受ける人は。

A 医療費の自己負担割合が1割から2割に増える人数は、65〜69歳の軽度障害該当者で約50名、療育Bの手帳保持者で約100名、併せて約150名である。

伊東幸一議員 一般質問



立山ブランド

特産品やイベントに対する支援を

観光物産展や

メディアへの露出拡大を図る

議員 認定マークは町のブランド品として商

品選択の基準になる。

これまでの認定品の販売動向と、今後の販売促進に対する支援を考えているか。

また、布橋灌頂会、アルペンヒルクライム等は重要な観光資源であり、関係機関と連携しながら全国イベントとして取り組むべきではないか。

そして、幅広い層の人が参加しやすい旅行商品開発や、著名人キャンペーンなどに取り組む考えはないか。

商工観光課長 認定品の販売動向については、様々な状況である。観光物産展などに出

PR活動で立山ブランドの販売促進に努める計画である。

専門雑誌への特集記事の掲載依頼や、メディアへの露出拡大を図り、効果的な集客に繋げていく。

農業制度改革

農家の不安を取り除く手立てを

経営基盤の強化と

迅速な情報提供に努める

議員 大きな農業制度改革に対して農家が感じる不安を取り除く手立てを講じ、円滑な推

進に向け、町としても適切な進向管理を図ることが必要でないか。

町長 これまでも適時

な情報の提供に努めており、今後も引き続き迅速な情報提供に努める。

また、農業経営体の経営基盤の強化に向け、関係機関一体となって支援する。



認定された立山ブランド

町税

滞納状況と滞納整理の取り組みは

滞納額は4,200万円 差し押さえ等を行っている

議員 町税等の滞納の状況と、滞納整理には、どんな対策をしているのか。

税務課長 町税の滞納額は昨年度固定資産税などで2,200万円、国民健康保険税で約2,000万円ある。

悪質な滞納者に対しては、預金等の調査を実施し、差し押さえを行っている。

その他の質問

- * 米粉消費の拡大を
- * アルペンルートのパス排ガス規制条例について
- * 実効性のある条例に
- * 立山駅周辺でのアイドリッグストップの遵守を
- * 元気交流ステーションの有効な活用を
- * 空家対策は幅広い角度で
- * 固定資産税の減免制度の周知を



村上紀義議員 一般質問

認知症

サポート体制は 養成講座を実施し サポーターの増員に努める

議員 団塊の世代が65歳以上の高齢をむかえ、早期の対策が必要と思うが、町ではピークを何年と考えているか。また、対象者を何人くらいと想定しているか。

徘徊で行方不明となる人は、年間1万人ともいわれている。将来に向け配信システムや模擬訓練導入の考えはあるか。

認知症サポーター及び介護予防サポーターの指標が発表されたが、町のサポート体制はどうなっているか。



徘徊の模擬訓練

健康福祉課長 高齢者のピークは2020年と考え、約8,300人。そのうちの認知症者は940人とみている。また、2030年には75歳以上の後期高齢者増に伴い1,030人と推測している。

徘徊防止には「認知症高齢者等徘徊SOSネットワーク事業」を実施し、疑似体験を取り入れた徘徊模擬訓練も行っている。

また、認知症サポーター数は266人、介護予防サポーター数は101人。今後も増員に努め、一般公募や職

域や学校にも協力依頼して養成講座を実施していく。

公民館

耐震基準に適合しているか 改築計画は

全ての公民館が適合

財源も含め検討

議員 町内にある公民館施設の老朽化が目立つようになってきた。町の避難場所にもなっているのか。

耐震基準に適合しているのか。また、全体のメンテナンス計画を作成しているのか。



ホールがほとんど2階にあり、高齢者には使いづらいという意見が多い。

大変厳しい財政の中で、大改修もしくは改築に對する町の考えはどうか。

教育課長 耐震基準には、全ての公民館が適合している。

「公民館施設メンテナンスプラン」を作成し、大小の改修対応で耐用年数を長くしている。

改築については、財源も含め将来的な計画を検討する必要がある。

その他の質問

*介護・予防支援策について

「認知介護」の実態と取り組みは

「活き粋倶楽部」「いきいきチェック」を開催しているが、成果は

*公民館職員の主事・主事補等の人材確保に、町の支援を

後藤智文議員 一般質問



空き店舗

チャレンジショップ事業で まち中活性化を

希望者があれば
何らかの支援をしていく

議員 チャレンジショップ事業に取り組み、若者が起業できる町にしたらどうか。

空き店舗対策にもなり、商店街の活性化にも繋がるなど効果が大きい。

新しいものに挑戦したらどうか。

町長 五百石商店街の完全な空き店舗は6軒、一部自宅の空き店舗は10軒程度ある。

完全な空き店舗は、築数十年経ち、開業す

るには経済性や安全性で課題がある。今後、希望者があれば何らかの支援をしていきたい。



五百石商店街

小学校統合

地域の声をしっかりと聞いて

関係住民と

合意を得た上で進める

議員 小学校統合について、地域から小学校がなくなるといふことは、子育てしにくい地域になってしまう。

進め方は、行政主導ではなく、子供を中心に地域の声をしっかりと聞くことが大事だと思うがどうか。

寝たきりのお年寄りに 健康増進を

「歯つらつ！健口教室」 切れ目のない対策

議員 口腔ケアの大切さが叫ばれている。寝たきりのお年寄りに口腔ケアを援助し、健康増進を図ってはどうか。

町長 在宅で寝たきりのお年寄りには、訪問看護や訪問介護で口腔ケアを行っている。

日本人の3大死因に肺炎が入り、大半が高齢者である。そのほとんどが誤えん性肺炎であり、口腔ケアはこの予防になる。

今年度から介護予防事業「歯つらつ！健口教室」を開催し、生涯を通して切れ目のない口腔ケア対策を図っていく。

教育長 「立山町立小学校適正配置検討審議会」の答申を受け、新瀬戸小学校区と日中上野小学校区で説明会を4月に行った。

現在、両校区で話し合いが行われ、今後、教育委員会と意見交換会を開催する予定にしている。

最終的には、関係地区住民の理解と合意を得た上で進める。



その他の質問

- *健康を維持し、住んでよかったと言えるまちづくりを
- ・各地区の公園に「健康遊具」の設置を
- ・森林セラピーコースの開発を
- ・ラジオ体操とウォーキングの拡大を
- ・支えあいマップを全地域で作成を
- ・介護保険から外される要支援者対策は
- ・公民館活性化に助成金増額とバス利用を
- *まち中の活性化を図り、人が行き交うまちづくりを
- ・商店版リフォーム助成制度で、今営業している商店の応援を
- ・みらいぶイイベント広場の更なる活用を
- ・アートを活用したまちづくりを
- *子供を産み、子育てしやすいまちづくりを
- ・学童保育所を各学校区に設置を
- ・就学援助項目でクラブ活動費に援助を
- ・大学生に奨学金を給付し、負担軽減を
- ・教育委員会制度改革について見解は



石田孝夫議員 一般質問

小学校統合

地区住民の

希望に添った進め方を

適性規模・適性配置

推進計画を策定

議員 統合については、子供たちの心を傷つけないよう十分配慮し、地区住民の希望に添った進め方を。

また、中山間地の学校を閉校すると、若者

が去り、集落は疲弊への一途を早める。後になって後悔しないための対策を、統合前に示すべきでは。

教育長 複式学級の早期解消を図るための学校統合として、平成28年度を目標年度とする短期的な取り組みとなっている。

立山町立小学校の適正規模・適性配置推進計画を、今年の10月頃を目途に策定したいと考えている。



新瀬戸小学校



日中上野小学校

空き家対策

早急に解体し 安全の保持に努めるべきでは

代執行を含め、 県に対応を働きかける

議員 空き家の中でも、火事で燃えた家、朽ち果てそうな家、危険と認められる建物に関しては、早急に解体し安全の保持に努める必要があるが、町の対応はどうか。

建設課長 持ち主が安全の保持に努める必要があり、第三者への損害防止のための注意義務は、建物など土地の工作物の占有者である

は所有者が負わなければならない。場合によっては代執行できるとあることから、県に対して、こうした対応を検討するよう働きかけていく。



火災住宅

その他の質問

- * 高齢者が、家の玄関から目的の場所まで移動するためのサービスの拡充を
- * ゴミ屋敷の今後の対応策は
- * 若者世代の流出・都会からの高齢者流入への対応は

坂井立朗議員 一般質問



「ごみ屋敷」

早期の解決に向けた対応は

今後、あらゆる手段を講ずる

議員 昨年改正をし

た、立山町環境美化の推進に関する条例の意義、目的を改めて問う。現況をどのように考えているのか。

条例第14条による指導・勧告を行っているが、なぜ第15条の措置命令を適用しないのか。

今後、早期の解決に向け、どのように対応していくのか。

町長 町には「ごみ屋敷」が2箇所存在し、景観や衛生状態の悪化により、近隣住民から苦情があり、町から所有者に対し指導を行った。

「個人の資産であるから自分の所有地に何を置いても問題ない」と主張し、撤去に応じなかったため、町の指導・勧告を実効性のあるものにするため、条例改正を行った。

「廃棄物」と「不良な環境」の定義を定め、自己の所有管理する土地であっても廃棄物等を長期間放置して周辺環境を不良な状態にす

ることを禁止し、これにより、ごみ屋敷問題への明確な町の姿勢を示したものである。

住民課長 長い期間が経過しているが、いまだ解決に至っていない。

この間、当事者に行政指導を行い、廃棄物の処分を求めたが、遅々として進まなかった。

当事者に法令違反等がないか、上市警察署などとも情報交換を密にし、連携して解決に向けて努力する。

措置命令は、当事者がどのような対応するかによって行政が下す重い処分であり、今はまだ出す段階ではないと行政として判断している。

今後、措置命令を出すかどうかについては状況を見ながら判断するが、まずは、当事者から委託を受けて町が代わって処理する方法があると説得している。

町長 今後、考えうるあらゆる手段を講じた

い。具体的には、条例の規定に基づき、7月初旬に勧告書を送付し、8月末までに廃棄物の処分が完了するよう求める。

完了できない場合は、当事者が町に処分を委託するよう更に求めながら、手順を踏みたい。

また、廃棄物の処分

に関しては、適正・適法に処分されることが重要であり、行政指導を続ける中で、廃棄物関係法令違反の可能性について危惧しており、上市警察署に告発を検討している。





澤井峰子議員 一般質問

子育て支援

病児・病後児のための 一時保育の充実を

ニーズ調査を踏まえ 子ども子育て会議等で検討

議員 「子ども・子育て関連3法」成立を受け、わが町の支援として「病児・病後児保育」「柔軟な一時保育」の充実、また、「産後ケア」を含めた施設が重要であると考えるが町の見解は。

健康福祉課長 昨年度、ニーズ調査を実施した。その調査結果を踏まえ、町全体の教育と保育の需要の見込みについて、こども・子育て

て会議等で検討する。産後ケアは重要な施設である反面、質の高いケアプログラムを整備することが求められるため、現時点での施設整備は困難である。

こども医療費

通院医療費拡充と

インフルエンザ助成の詳細は

小学生は無料、中学生は1割負担 インフルエンザ1回1,500円助成

議員 10月より実施されるこども医療費拡充と、小中学生対象のインフルエンザ予防接種費の一部助成の詳細および支払方法は。

住民課長 従来の制度に加え、小学生の通院費は、自己負担月1,000円も含めて全額町が助成する。また新たな助成として、中学生の通院費については自己負担3割



から1割負担とし、どちらも償還払いとする。インフルエンザ予防接種費については、1回1,500円の助成を小学生は2回、中学生は1回とする。具体的には、学校を通じて助成券を配布し、助成額の超過分を窓口負担とする。

なお、実施医療機関は、町内の11医療機関とする。

教育

読書通帳について 今後どのように取り組むのか

学校への 読書通帳システム導入を検討

議員 全国的に反響をよんでいる読書通帳の小中学校への展開は。

教育課長 学校における読書習慣の充実のため、読書通帳システムの導入と学校司書のさらなる充実配置を検討する。

平成27年度重要事業として、国に対して補助事業創設などの財政支援の要望を行う予定である。



その他の質問

- * 人口減少問題について
- * 出生率向上への施策は
- * 子育て期の女性や元気なシニア世代の再就職支援は
- * 移住者増加への対策について
- * 空き地や空き店舗を活用した青年層や女性への起業支援を
- * 孫とシニア世代の立山体験ツアーの企画を
- * 「キャリア教育」を通して高校・大学生世代の人材育成事業の確立を
- * こども医療費の所得制限廃止・緩和を
- * 「移动式赤ちゃん駅」の導入を

岡田健治議員 一般質問



農業

やる気ある農業者への支援は

国・県の事業を活用しながら支援 6次産業化で実績



議員 やる気のある認定農業者に具体的にどんな支援をするのか。また、それを実施した場合の効果はどうみているのか。

町長 規模の大小を問わず、農産物を生産、販売する意欲のある農業経営体には、メニューに応じた事業の周知に努めてきた。今後もハード整備として、経営体育成支援事業や園芸規模拡大チャレンジ事業など国・県の事業を活用しながら支援していく。また、農地の集積化や集落営農の法人化に対し、国、県の事業を活用しながら支援していく。

農業所得の確保と経営基盤の安定化を目指すため、6次産業化の取り組みを行っている「いこいの杜の味噌」「立山町そば推進協議会」等は商品化し、販売の実績をあげている。

忠魂碑

忠魂碑は文化財産

町は維持管理を

遺族会等と協議し検討する

議員 忠魂碑は、自治体が建てたもので、その教育的な意図をもって、小学校や中学校の敷地内に多く存在する。

道祖神や地蔵さまと同様に、地域の文化財産である。倒壊の危険がある忠魂碑もあり、抜本的な維持管理の方策が必要ではないか。

教育長 忠魂碑等は、主に日清・日露戦争における戦没者等の慰霊・顕彰のために建立したものであり、今日の平和と繁栄が、戦没者の尊い犠牲の基に築かれていることを決して忘れてはいけない。また、当時は戦争に対する肯定的な社会的

風潮もあり、軍事教育の一環として建立された意図が含まれていた。

しかしながら、管理者の高齢化や後継者の不在に伴い、維持管理が難しい忠魂碑もあり、また倒壊の恐れもある。

町では、過去の経緯に留意、現在の事情を勘案し、遺族会等と協議し、慎重に今後のあり方について検討したい。



その他の質問

- *立山イノベーションパーク周辺の管理は
- *子育て支援策の予算減少による影響は
- *2040年地域崩壊危機について
- *女性の社会進出対策は
- *将来推計人口の大幅減対策は



桑原米蔵議員 一般質問



西部児童館

また、縁談の情報交換を行う縁結び応援事業などの対応を予定している。

少子化

総合的な子育て支援・少子化対策を

「立山町少子化対策アクションプラン2014」の策定

議員 総合的な子育て支援、少子化対策を講じるべきである。若者の出会いづくりから、子育て負担の軽減、老人パワーの活用など、立山町ならではの支援策を検討すべきではないか。

町長 町では、「立山町少子化対策アクションプラン2014」の策定を進めている。

具体的施策として、子育て中の保護者の就労を支援する（仮称）立山町子育て支援センターを来年度に立ち上げ、西部児童館を拠点として、ファミリーサポートセンターの機能と併せて、放課後児童クラブの事務所機能も持たせる。

少子化、人口減少は、複数の要因が絡み合っており、対策も多面的に、緊急性をもって取り組んでいく必要がある。

防災

防災計画は何に重点を置くのか

命を守ることを最優先に

がある。それが、町の力を高め、時代に対応した、体力のある質の高い町へとつながるものと思っている。

議員 各災害を想定した、防災計画が策定されたが、災害は現場で起きる。この計画を踏まえ、どのような方針のもと、何に重点を置いて防災対策に取り組むのか。

町長 今回の改訂で、本計画を風水害編、火災編等、5つの現実の災害に即した構成で、それぞれの災害に対する予防、応急、復旧等の各段階における施策を示している。

近年、災害発生要因が複雑・多様化する傾向にあり、災害による



人的被害、または経済的被害を最小化する「減災」、つまり、日頃から、災害に対する備えをすることで、少しでも災害時の被害を軽減するということを基本方針としている。

及び防災訓練等を通じ、町民の防災意識の向上や、災害時には何よりもまず「命を守る」ことを最優先とし、「空振り」を恐れず、躊躇することなく避難勧告・避難指示等の発令を迅速に行うことに重点を置き、防災対策に取り組んでいく。

その他の質問

- * 子どもの医療費の助成について
- * どのような対応をするのか
- * どの程度の財政負担になるのか
- * 国・県等への職員派遣、人事交流の促進は
- * 住宅火災報知機の普及啓発状況は
- * 新任課長に問う
- 「ゴミ屋敷問題」解決の決意と今後のスケジュールは
- 会計管理者として、公金管理の基本的考え方と心構えは

意見書 可決

憲法改正の早期実現を求める意見書

賛成 11 反対 2

ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充を求める意見書

全員賛成

農業委員に女性4名を推薦

立山町農業委員会委員の改選に伴う議会推薦の委員に、次の4名の方を選出しました。

廣明 菊枝 野口
久世 キヲ 金剛寺
藤城 久栄 大清水
水野 友子 泉

平成25年度 政務活動費収支報告

平成25年4月から26年2月分

単位：円

平成25年度の政務活動費は右表のように使われました。

会派名	人数	交付額	支出額	内 訳		返還額
				研修費	資料購入費	
自民党議員会	9→12	615,000	611,278	488,278	123,000	3,722
公明党	1	55,000	53,330	0	53,330	1,670
日本共産党	1	55,000	56,080	0	56,080	0
社民クラブ	1	30,000	0	0	0	30,000

政務活動費は、議員が町に関する施策を調査研究するために必要な経費の一部として報酬とは別に、議員1人当り年額6万円が交付されています。

平成26年3月分

単位：円

※ 交付額を超過した支出については、各会派で負担しています。

会派名	人数	交付額	支出額	内 訳		返還額
				研修費	資料購入費	
自民党議員会	10	50,000	41,100	0	41,100	8,900
自民クラブ	1	5,000	1,800	0	1,800	3,200
自由民主党愛孝会	1	5,000	3,940	0	3,940	1,060
日本共産党	1	5,000	5,030	0	5,030	0
ひまわりの会	1	5,000	3,940	0	3,940	1,060

平成25年度 議長交際費支出状況

単位：円

項目	件数	支出額	備 考
志・会費	73	401,553	各種団体主催の総会等の志・会費
慶弔費	10	83,000	式典などの祝金・香典等
激励・賛助金	8	60,000	公益性のある行事等の激励金・協力金
その他	6	45,439	消耗品・印刷費等
合計	97	589,992	



あ と が き

あちらこちらで蛍が見られる季節になりました。
先日、東京で開催された議会広報研修会に、広報委員全員で参加してきました。
内容は、わかりやすい表現や表記・編集・写真の撮り方です。
研修したことを今後の編集に活かし、町民の皆様によりわかりやすく愛される議会だよりの発行に、委員一同頑張つてまいります。
今回の第52号は、表紙・裏表紙をカラーにしてみました。
まだまだ厳しい暑さが続きますが、熱中症にならないようお過ごしください。

(広島記)

議会広報特別委員会

- 委員長 亀山 彰
副委員長 内山 昭
委員 石田 孝子
村上 紀夫
岡田 健治
廣島 秀一

議会や議会だよりについて、みなさんのご意見・ご感想は
立山町議会内
議会だより係

TEL 462-9984 (直通)
TEL 463-1121 (代)
FAX 464-1118

立山町議会事務局
〒930-0292 富山県中新川郡立山町前沢2440
ホームページ <http://www.town.tateyama.toyama.jp/> 【議会会議録】もご覧ください。